

# 民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

乗客の安全は二の次? 「ライドシェア」解禁(3面)  
歴史からパレスチナ問題を考える (6、7面)  
インボイスから日本の政治と暮らしが見える(10、11面)

## 各地で歴史的拡大到達!

▶6月に都内で行われた若者憲法集会後のデモ行進。行進には多くの同盟員が参加し、憲法を生かした政治にしようという声を上げた



▶民青が力を合わせている若者憲法集会実行委員会が行った街頭宣伝のようす(3月19日、所沢)

第47回全国大会目前。民青同盟は拡大目標の2000人を大きく上回る2509名という到達を築いています(11月18日夕方時点)。東京都委員会と北海道委員会は、青年に分け入った対話に積極的に踏み出し、歴史的な拡大数となっています。1面では東京と北海道で街頭宣伝を通じて新たに加盟した青年に、2面では実践の先頭に立ってきた同盟員に取材を行いました。(1面の青年は仮名、栗山さつき記者)



## 新加盟者・拡大励む同盟員の「声」

みんなと学んで活動したい

北海道の小池唯さんや感想を話せて、共感して(24)は「普段からニュースを見ていて、いろいろなことに興味や関心がある」と話します。民青での活動について、最初は難しそうだと感じましたが、「民青ではいろいろなことを学べるし、人の役に立っていることを知り加盟した」と言います。

自分の選択に自信持たいたい

小池さんは初めて班会に参加したときのことを振り返り、「私と同じ年代の人が多くて、学ぶだけでなく、みんなとニュースの話、民青の加盟呼びかけ文を読

田中さんはさっそく学習いし、今後も、いろいろな仲間になってほしい」といふ思いから、班員たちと共にさっそく街頭宣伝にのりこんでいきます。藤田さんは「まだ政治についていろいろと学び始めた段階なので、宣伝対話が盛り上がるように自分自身も政治について学んでいきたい」と話しました。

民青を通じて政治変えたい

3カ月ほど前に加盟した藤田光さん(23)は「岸田政権になってから、増税などの悪いニュースばかりになっていて、以前からそんな政治に不満を持っていた」と話します。そんな中、藤田さんは「敵基地攻撃能力や軍拡について、これまでお金を使い過ぎた」と思っていたけれど、相手の攻撃を防ぐためならある程度軍備の拡張をする必要はないし、抑止力というものを信じていくべきではないかと、勇た」と言います。



▶8月に長崎で開催された「原水爆禁止2023年世界大会」での一幕。毎年多くの同盟員が同大会に参加し、平和への思いを強めている

藤田さんは、同年代の人たちが政治について勉強して活動していることを知るとは思っていたけれど、相手の攻撃を防ぐためならある程度軍備の拡張をする必要はないし、抑止力というものを信じていくべきではないかと、勇た」と言います。